

花王

アジアで唯一16年連続で 世界で最も倫理的な企業 に選定

花王は、企業倫理や企業の社会的責任を専門にする米国のシンクタンク「エシスフィア・インスティテュート」が発表した「World's Most Ethical Companies 2022」(世界で最も倫理的な企業)に選定された。2007年に同賞が創設されて以来、16年連続で選定されているアジア・日本で唯一の企業となった。

「World's Most Ethical Companies」は、「倫理的企業風土」「コーポレートガバナンス」「透明性、誠実さ、倫理、コンプライアンスに関する優れた成果を挙げる企業を表彰するもの。」「企業の5つの項目について評価を行い、優れた企業が選定される。」

ETHISPHERE®
WORLD'S MOST
ETHICAL
COMPANIES®
2007 - 2022

花王グループでは、企業行動の原点として、創業者が残した「正道を歩む」という言葉を掲げ、法と倫理に則って、誠実で健全な事業活動を行うことを目指している。

「World's Most Ethical Companies」の取り組み「企業市民としての責任ある活動」

規程「花王ビジネスコード」を制定し、各国・地域の

事業の特性や事例を踏まえた研修を実施し、グループ社員全員の浸透を図っている。

また、2021年7月に企業理念「花王ウェイ」を刷新し、人と地球の共生、多様性とインクルージョンなどのESG視点や、挑戦する姿勢を強化した。改訂を機に、「基本となる価値観」の最初の項目に「正道を歩む」を掲げること、重要性を改めて示している。

今回の受賞に際して長谷部佳宏社長は、「『正道を歩む』と同時に現状に



長谷部 社長

甘んじることなく進化しなければならぬという危機感があり、2021年は企業理念『花王ウェイ』を刷新した。行動原則に『果敢に挑む』を掲げ、今後さらに変化する社会においても、高い目標に向かって挑戦し続けていくことを新たに決意している」とコメントしている。

日本水環境学会

「ライオン賞」の受賞者を選定

ライオン

ライオンは3月17日、水環境保全に関する国内最大の学会である日本水環境学会にて、14回目の歴史の変遷の推定)を選定した。同社は、「洗うこと」を通じて、常に水との深い関わりの中で事業を展開し、1960年代には生分解性の高い洗浄成分を配合した洗剤、1970年代には業界に先駆け無リン洗剤、近年では節電や時短にもつながる

こうした水資源保護活動の一環として、同社は日本水環境学会にて2009年に「ライオン賞」を創設し、優秀な研究活動を表彰することにより、若手研究者への支援を行っている。

サンスター

赤十字を通じてウクライナに人道支援へ 8万点以上のオーラルケア製品の無償提供や 避難民専用歯科医院などを支援

サンスターグループは、ウクライナおよび近隣諸国へ避難している人々への緊急支援として、グローバル本社のあるスイスと、ポーランドなど欧州拠点の連携により、8万点以上のハブラシ・ハミガキ・デンタルリンスを含むオーラルケア製品をワルシャワのポーランド赤十字社を通じて無償提供する。



サンスターでは、避難している人々へのオーラルケア製品の提供を行うことが最優先の人道支援と考え、スイス、ポーランド、ドイツ、フランス、スペインを含むグループ各拠点

女性研究者支援事業を 立ち上げ

花王芸術・科学財団

公益財団法人花王芸術・科学財団は、2022年度の新たな事業として、任期付き雇用の女性研究者を対象とした使途を助ける助成プログラムとして立ち上げられた。任期付き雇用の優秀な女性研究者が研究継続できるロールモデルを増やすとともに、日本の科学技術研究の振興・発展向上に寄与し、男女共同参画社会の形成を促進することを目的に2030年までの有期活動として展開していく。

状況を打破するため、女性研究者やそのパートナーのワークライフバランスに配慮し、研究の継続を助ける助成プログラムとして立ち上げられた。任期付き雇用の優秀な女性研究者が研究継続できるロールモデルを増やすとともに、日本の科学技術研究の振興・発展向上に寄与し、男女共同参画社会の形成を促進することを目的に2030年までの有期活動として展開していく。

において、社員が一丸となり製品提供の心配と発送を行う。

また、サンスターでは地域社会を支援する活動

支援を開始したほか、グローバル本社からはスイスの国際赤十字を通じて寄付を行うことを決定した。

第1回「花王Crescent award」では、14名・1400万円の助成を実施する。『表面の科学』の化学・物理学分野にて、ワークライフバランスを考慮しながら、今後も長く研究継続を希望する女性研究者を、2021年12月1日〜2022年2月1日までの期間、同財団が指定した大学・研究機関等より推薦を受け付け、財団の理事会により決定した。受賞者にはそれぞれ100万円を寄贈するとともに、女性研究者同士の横のつながりを醸成することを目的に、オンラインによる懇談会等を開催する。